

キウイフルーツ大玉果実生産に!

「環状はく皮」

今シーズン!
是非お試しください!

ニュータイプ

省労力
専用ハサミ

『グリーンカット10』



パチッと挟んで、くるっと回すだけでとっても簡単!

携帯に便利
取扱い簡単
作業性が楽

(早い、施術後がキレイ)

環状はく皮は元々有機栽培(ヘイワード種)の農家にて開発された技術ですが現在ではニュージーランドの大半の農家で大玉生産の為に実施されている方法です。

理想的なはく皮時期

授粉後、1週間～4週間が適期です。

※より効果が高いのは授粉後、7日～10日頃です。

キウイフルーツにおける環状剥皮について

春季に行う環状剥皮は早い時期の果実成長を促し果実の重量（収量）を増加させる働きがあります。環状剥皮は元々有機栽培の農家にて開発された技術ですが現在ではニュージーランドの多くの農家で利用されている作業です。

環状剥皮方法 枝をハサミではさんで、360度回転させるだけでOK！



製品仕様



全長	: 120mm
全幅	: 65mm
重量	: 80g
はく皮幅	: 10mm
ハンドル部	: アルミダイキャスト
刃部	: はがね (SK材)
パネ部	: パネ材 (SWP材)
製造国	: 日本製

剥皮位置

主枝から伸びた1年枝の場合、枝の基部側に芽を1～2芽残し、その先に剥皮を行います。

剥皮位置から主枝側に何枚かの葉を残すことで剥皮が元に戻るまで炭水化物等の養分を根に供給出来るようにします。基部から1～2芽残して剥皮する理由は翌年の結果母枝確保の為です。

従来のグリーンカットは剥皮処理幅が5mmだったため、すぐに癒合し、肥大効果が低い点が指摘されていました。当試験場においても株式会社アグリと共同で剥皮試験を重ねた結果、最も最適な剥皮処理幅は10mmと判明しました。そしてニュータイプ『グリーンカット10』が完成しました。従来のグリーンカットよりもコストを削減し、生産者にとっても利用しやすい価格に設定されていると聞いています。果実肥大化のために有効な環状剥皮技術を省労力で実現できる大きな武器だと思います。

佐賀県果樹試験場 落葉果樹研究担当 専門研究員 稲富 和弘

販売元

総合商社

株式会社アグリ

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島2丁目18番1

TEL 0952-33-8307 FAX 0952-33-7694

E-mail: info@agri-co.jp

URL: www.agri-co.jp

General Trading Company

agri
CO.,LTD